

音楽運動

日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



日音協は『5・3憲法大行動』の趣旨に賛同していただけるプロ・アマを問わないミュージシャンの演奏動画を募集しました。(支部に所属する会員には、支部を通じてお知らせしました)。
5月1日締切で、結果下表の15組の応募がありました。
リモート合唱『HEIWAの鐘』
『沖縄今こそ立ち上がろう』『この胸の奥深く』にも取り組みました。
ぜひ、日音協のHPからご覧ください。

届け！音楽！『平和・いのち・人権』

♪リモート合唱にご応募下さい！

♪ 集会のオープニングとエンディングに、文化企画として3曲の音楽動画を配信します。

5・3憲法大行動

平和といのちと人権を！
とりもどそう！民主主義、立憲主義

日時：2021年5月3日(月・休)13:30～

場所：国会議事堂正門前およびオンライン中継



♪ ユキヒロさん・川口真由美さんの演奏動画に合わせて歌いましょう！



ユキヒロ (仲里 幸広)

♪ 沖縄出身のシンガーソングライター。沖縄・東京を中心に全国でライブ活動を展開。伸びやかな声と楽しいトークで、幅広いファンを魅了し、元氣と癒しを発信している。



川口真由美

♪ 京都在住のシンガーソングライター。戦争反対・護憲・原発・沖縄基地建設反対などの運動に参加。辺野古には月1回ペースでゲート前の座り込みなどに参加。

「HEIWAの鐘」

仲里幸広 作詞・作曲

「沖縄今こそ立ち上がろう」

映画『叛乱(邦題)』より詩/木島三夫
替え歌/山城博治・作曲者不明

— We Shall Overcome —

「この胸の奥深く」

井上箏 日本語詞・Traditional

★リモート収録用音源と収録方法については音楽センターHP「5.3憲法集会音楽企画」特設ページへ



リモート合唱動画送信先 ohno@ongakucenter.co.jp

届け！音楽！『平和といのちと人権』パフォーマンス動画を募集します！
変えよう政治！命を守り、平和をつくる、5.3憲法大行動音楽配信企画では、こちらのリモート合唱企画とは別に、趣旨にご賛同を頂ける皆さんからのパフォーマンス動画を、プロ・アマ問わず募集いたします。

【参加要項】
既存の曲、オリジナルソング、ソロ、合唱、器楽、ダンス、朗読などジャンルは自由です。特に動画の長さには規定は設けません。
※こちらでは動画の頭にタイトルをつける程度の編集しが行いません。

【配信予定】4月26日13時より動画配信準備完了となった順に、YouTube「5.3憲法集会音楽配信企画」チャンネルにて順次公開。
5月3日以降は、アーカイブとして5.3憲法集会HPより公開継続予定。

パフォーマンス動画送信先 kenpousyuukai.5.3@aol.com

賛同を頂いた演奏者の皆さん

(2面、3面に紹介)

- 宮沢英明「春を待つ町」
(3面に歌詞を掲載)
- いなのとひら・のとこば
「蔓延防止等重点措置」ほか
- 阪大ニグロ
「腰まで泥まみれ」ほか
- ノブのブ
「日曜日の真昼間」
- 一二三礼
「Any Day Now」
- コクトウカリンズ
「ハイ・ドクター」
- 幸野真
「しゃれこうべと大砲」
- 平和への歌声
「フィンランディア」
- グループ多摩じまん
駅前うた行動「決意」ほか
- ブービーバンド
「ゲゲゲの総理」
- 坂口美日
「明日戦争が始まる」
- Rico & Tatsu
「なまえ～やまゆり園事件を忘れない～」ほか
- 浦邊力
「キッス」ほか
- 蓮沼ラビィ
「家でテレビを観ているよりも」ほか
- Piggies
「フレコンバックがどこまでも」ほか

〈協力・呼びかけ〉

日本のうたごえ全国協議会・東京のうたごえ協議会
日本音楽協議会・日本音楽協議会東京都支部
顧問い合わせ 音楽センター ☎03-3200-0101

憲法集会音楽配信企画 [検索](#)

集会主催：5.3憲法集会実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-21-6-301
「戦争をさせない1000人委員会」 03-3526-2920
「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」 03-3221-4668
「戦争する国づくりストップ！憲法をまもり・いかず共同戦線」 03-5842-5611

5.3憲法大行動に連動した 音楽WEB配信から



1 宮沢英明 (長野県支部)



2 いなのとひら・のどこば



3 阪大ニグロ



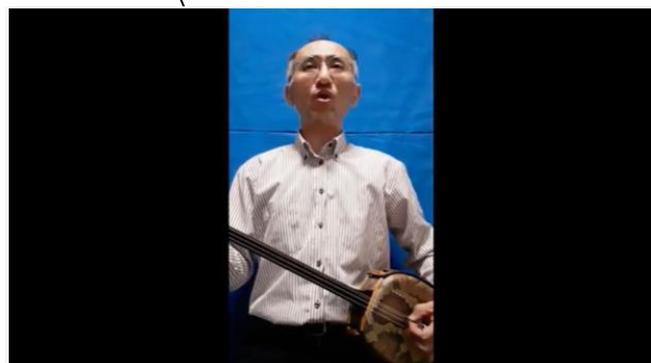
4 ノブのブ



5 一二三礼



6 コクトウカリンス



7 幸野真



8 平和への歌声

日音協のHPから視聴してください



9 グループ多摩じまん



10 ブービーバンド



11 坂口美日



12 Rico & Tatsu



13 浦邊力



14 蓮沼ラビィ

春を待つ町

詩・曲 川宮沢英明

桜の花が 淡く 咲き始めてる
 春まだ浅い 福島 浜通り
 仮設の窓から 望む双葉は
 人影の消えた モノクロームの町
 黒い津波に飲み込まれ
 見えない恐怖に阻まれて
 僕の暮らした故郷は
 今も帰れぬ 規制線の先：
 岬から海へとなびく 枝垂れ桜は
 波にさらわれた思い出たちへ 捧げる花束

今でも覚えていてくれるかな
 あの春が過ぎたら 結婚していたことを
 何にも残さず 波に消えた君は
 フレームの向こうで 小さく微笑む
 いくら怒りをぶつけても
 いくら涙を拭いても
 君と僕との約束は
 二度と叶わぬ 規制線の果て：
 岬から海へとなびく 枝垂れ桜は
 君がいつの日か着るはずだった 花嫁衣裳

いくつ月日を重ねたら
 いくつ季節を潜ったら
 双葉の町に訪れる 本当の春
 それはいつ：
 岬から海へとなびく 枝垂れ桜は
 望郷が募る 春待ち人を 静かに見守る
 望郷が募る 春待ち人を 静かに見守る
 望郷が募る 春待ち人を 静かに見守る

感染症下での音楽祭を連合沖縄と協議

今年秋に計画している第53回はたらくものの音楽祭に向けた新型コロナウイルス感染症対策について、4月28日、日音協松本会長は、連合沖縄東盛政行会長と電話で協議しました。

日音協は、音楽祭のための会場として、沖縄県那覇市のパレット市民劇場を11月13日(土)、14日(日)に予約していますが、沖縄を含めて全国で新型コロナウイルス感染症が第4波と言われる拡大をする中、今日開催の可否を判断するのではなく、8月なかばに感染状況を見極めて判断すること、パレット市民劇場の席数の2分の1以下になるように各県支部に参加者数を割り当てるなど、三密にならない感染症対策を講じることなどを説明しました。

日音協と連合沖縄とは、引き続き感染状況を注視しながら協議することとしました。

We shall overcomeの作者は誰か？

1面にご紹介したとおり、5.3憲法大行動に向けて「この胸の奥深く」をリモート合唱することにしました。このうたは、「We shall overcome」に、鍵盤奏者・編曲者の井上鑑さんが新しい日本語詩をつけたものです。その際、原曲を「Traditional」(伝承曲)としたことから、改めてこの曲の作者は誰か？ということ調べてみました。

「We shall overcome」は、Zilphia Horton、Frank Hamilton、Guy Carawan、Pete Seegerの共作、とされることが多いです。しかし、Wikipedia(英語版)によれば、Zilphia Hortonは、1945年のたばこ労働者のストライキの指導者Lucille Simmonsから教わったと言っているようです①。Frank HamiltonもGuy CarawanもPete Seegerも、Hortonにこのうたを教わったことは間違いないでしょう。

Wikipediaは原曲はCharles Albert Tindleyの「I'll Overcome Day」だとしていますが、メロディは大きく違うようです②。一方、Louise Shropshireが1930年代に作曲した「If My Jesus Wills」こそが「We shall overcome」の原曲だという人もいます。確かによく似ています③。ShropshireがTindleyの詩に影響されたということはありません。

YouTubeでは、Hortonが1947年にうたたとされるものも聴くことができます④。これをもとに、Pete Seegerほかの方々が歌詞を少しずつ変えて、現在の形になったということではないでしょう。(松本敏之)

①https://en.wikipedia.org/wiki/We_Shall_Overcome

②<https://hymnary.org/media/fetch/113646>

③<https://www.youtube.com/watch?v=-dD3tpGyRLQ>

④<https://www.youtube.com/watch?v=6tFvHg3fSoc>

第53回はたらくものの音楽祭(沖縄)の感染症対策方針

第53回はたらくものの音楽祭(沖縄)まで7ヶ月をきりましたが、新型コロナウイルス感染症は第4波とも言われる勢いを見せ、ワクチンも日本の人口100人あたり累計接種回数が1.5にとどまっています(4月16日)。そこで、日音協幹事会として、今日(4月18日)時点での感染症対策方針を示し、連合沖縄はじめ沖縄と全国の関係者と協議を加速していくこととします。この方針は、これら協議の結果として見直すこともあり得ることとします。

- 1 パレット市民劇場の新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインを守ります。
パレット市民劇場のガイドラインは次のURLでご覧ください。

<http://www.palette-kumoji.co.jp/naha/gekijo/201010/08.pdf>

同ガイドラインの要旨をこのペーパーの末尾に掲載します。また、ステージスタッフのための対策方針は、別に定めます。

- 2 客席に座る数を188人以下にするために、各県に参加要請数を割り当てます。参加要請数は原則として、第52回音楽祭(秋田)の全国交流会の県ごとの参加者数(合計で150人)を基本とします。ただし、秋田県は18、沖縄県は日音協と関係労組とあわせて32とします。

- 3 感染症が収まらないときの中止の判断の基準を(1)沖縄の基準と(2)沖縄県以外の基準とし、ふたつの基準ともに満たされることで音楽祭の3か月前8月13日ごろに日音協幹事会が開催の判断をします。このとき(1)(2)の基準をクリアしても、その後感染症の状況が悪化した時は、同様の基準で中止の判断をします。その場合、日音協は、個々の参加者の交通費、宿泊費のキャンセル料を負担しません。

- (1) 沖縄県が新型インフルエンザ等対策特別措置法にもとづく緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象ではなく、政府分科会が示す新型コロナ感染状況の判断の指標がいずれもステージ4未満であり、かつ、おおむねステージ3未満であること

ステージ3の指標があるときは、その増減傾向などにより慎重に判断します。

- (2) 日音協の支部のある都道県(沖縄を除く13都道県)のうち10都道県以上が新型インフルエンザ等対策特別措置法にもとづく緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象ではなく、政府分科会が示す新型コロナ感染状況の判断の指標が、いずれもステージ4未満であり、かつ、おおむねステージ3未満であること

なお、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象となっている都道県、指標のいずれかがステージ4である都道県と指標がおおむねステージ3である都道県からは、音楽祭に参加しないように強く要請します。この場合も日音協は、個々の参加者の交通費、宿泊費のキャンセル料を負担しません。

ここで13県とは、北海道、青森県、秋田県、岩手県、福島県、茨城県、千葉県、東京都、新潟県、長野県、富山県、香川県、熊本県とします。

〈歌の力が物語るもの〉

官邸前反原発行動

2021/4/16(415回)報告 Rico

【参加者】 乱鬼龍さん、なべさん、はしゆきさん、イサさん、坂口、ようこさん、ウメちゃん、達哉、森 計9名

今日は官邸前で何かあったはずだ。汚染水放出かマンマーか入管法か辺野古の土砂か。どうしてこんなに次々と悪政ばかり…菜葉坂に誰も来なかったら早めに切り上げて官邸前に参加しよう…と考えながら菜葉坂に向かう。達哉は官邸前に参加したいと言ってそちらに行ってしまった。ひとりで旗を出しているとイサさんとお仲間が経産省前の行動を終えて坂を上ってきた。「ちょっとあっち(官邸前)に行ってくる。あとで来るよ、7時半までここにいるよね?」「いるよ。行ってらっしゃい、待ってるね。」と。早くても7時半まで歌うと腹をくくった。

乱鬼龍さんとなべさんも経産省前からやってきた。なべさんとは久しぶり。おしゃべりしていたら坂口さんが到着。歌の準備を始める。では、なべさんの好きな『あたりまえの地球』から。めずらしく乱鬼龍さんも歌詞カードを手に、一緒に歌ってくれた。イサさんとお仲間のひとりも戻ってきた。1曲目から賑やかな菜葉坂!

乱さんとなべさんは歌い終えて官邸前に向かう。イサさんのお仲間の「はしゆきさん」は経産省前テントの座り込みメンバーのおひとりで、リコーダーを吹く。『あたりまえの地球』もすぐに合わせてくれてびっくり!3本のリコーダーを操り、「CかFかGなら合わせられるよ。」と頼もしい。今日は調で曲を選んでいく。『風車の唄』はすんなりと吹き上げた。うたいたいの行動への参加は初めてなのにどうして?「経産省前に日音協さん来て、歌ってくれてたでしょ。そこで覚えたよ。」とおお~、すばらしい。

達哉も戻ってきてギターを取り出した。坂口さんのタンバリン、イサさんの鳴子も鳴る。楽器が増えると歌全体が元気に響く。ようこさんやウメちゃんも到着し、歌い手も増えた。『We shall overcome』『菜葉坂の祈り(山の口ザリア)』『ふるさと沖縄』…。『私たちの暮らしは私たちが決める』は、はしゆきさんには馴染みがない曲だったので録音していた。覚えてくれるのかな。次の参加もあるってことだな。嬉しい。『ジュゴンがすむ海』『メッセージ』『前へ』…。

気が付くと7時半を過ぎていた。最後の曲は『あなたに届けと』。

トリチウム「処理水」のイメージをぼかすために、ゆるキャラが生み出された。電通に3億円で発注!麻生さんは「飲めるくらい安全なんだろ?」とのたまう。飲んでみろよ!無責任な発言、無責任な税の支出。ぎりぎりの暮らしを放置する一方で、がんばって立て直した生業を打ち壊しさえする現政権。黙ってはいられない。あなたに届けと我らは歌うのだ。また来週!

※掲載を休んだことがあったので、今号では2回分掲載させていただきます。(編集部)

第2回RMMの予定

2回目のリモート・ミュージック・ミーティングは、スピーカーにブービーバンドを迎えて開催する予定です。

【タイムスケジュール】

2021年6月20日(日)

14:45 入場開始
15:00 ミーティング開会&RMM説明
15:05 ブービーバンド演奏&トーク
15:50 休憩
16:00 ブービーバンド演奏&トーク
16:50 まとめ
17:00 終了

- 唄いながら、途中、事前の質問に沿って進めます。
- 質問については、案内チラシにあったもの(曲づくりや創作のヒント、個々人のうた、組合や社会活動と歌、など)を中心にします。
- 変更があるかもしれません。詳しいことは後程お知らせいたします。

県職労と仲間たちのコンサート

新潟県職労には、組合員の親睦を深めること、県職労への結集を高めること等を目的に、組合員が行う文化・スポーツ活動に対する助成制度がある。これを利用して3年前に始めたのが「県職労と仲間たちのコンサート」。

気軽に演奏する機会や音楽を楽しむ組合員を増やす、いわば底辺を広げるためだが、自治労新潟県本部音楽運動推進委員会と日音協の協力を得て運営するというフレームにしていることで、音楽と労働運動の接点を増やす目的もある。

今年3月27日に第3回目のコンサートが行われた。会場は長岡市リリックホール第1スタジオ。当日は県職労組合員と退職者の7人・グループが出演し、その他に日音協新潟県支部もステージに立ち、「ものさしを当てられて」「Let's sing a song」「限りなき躍進」の3曲を演奏した。

準備不足等で組合員への周知も進まず参加者が限定された昨年度と異なり、今年度は新しく4人・グループの参加があった他、感染防止のため動画で参加した人もあり、前の2回に比べて若干広がりが出た感じがある。

しかし観客は少なく、呼びかけ方や運営に協力してくれる人を増やす等の課題は残る。

このコンサートの特徴は、発表の場が少ない方の参加が比較的多いこと。当日は、ステージ上であがってしまい、私も含めて途中止まったりすることが多かった。逆に、人前で演奏で力量アップにつながる「研鑽の場」として活用してもらおう、「今の自分にちょうどいい気軽なコンサート」として宣伝できる手応えを得た。

人気のある会場なので、確保が困難な状況もあり、開催に当たって消耗することも多いが、今回得た小さな成果をまた次の開催の力にし、一緒に音楽活動していく仲間の拡大につなげたい。(新潟・山本英二)

歌の力が物語るもの 96

官邸前反原発行動 4/2 (413回) 報告 Rico

【参加者】 イサさん モリヤさん ようこさん 達哉 森 計5名

反原連の主催ではない金曜行動。国会議事堂前駅を出ると、いつものように警察車両が並んでいた。向かい側の歩道に、団扇太鼓が響く。妙法寺さんだ。広い道路を挟んで会釈を交わした。

なんと静かな国会周辺。達哉はギターを背負ったまま、官邸前エリアを見に出かけて行った。菜葉坂を旗を立てていると、乱鬼龍さんが通りかかると、私がひとりとみると、立ち止まってくれた。「良いものをあげよう」と差し出してくれたのは胡瓜漬けの小さなパック。市販の漬物に乱鬼龍さんの似

水道橋だより

▼コロナ禍、集まって一緒に歌を歌おうなんて、なかなか言えない今日のごろですが。▼メーデー合唱団は中央メーデーの出番はなかったが、沖縄音楽祭に向けて練習を始めた。▼わが青森も月1で練習していたが飲食街にクラスターが発生し、練習会場のお店もテイクアウト中心となり4月は中止とした。▼茨城県支部の練習会や東京都支部の動画撮影会などの報告も届いた。▼ワクチン接種に期待し、「コロナんかい負きらんぐとマジュンちばらなやーさい」(コロナに負けないように、ともに頑張りましょう)。(佐藤)



3月の練習会 青森：嵯峨さん

顔絵シールが貼られている。「一度食べたらやめられない美味しさ！何食わぬ顔でお食べください。官公庁様御用達接待漬」。乱鬼龍さんは面白いものを次々作っている。ポケットティッシュにはさむラベル『ふくのかみ 汚れた政治を拭き落とせ！腐った政治は捨てましょう！』も分けてもらった。写真家の五味さんが通りすがりに撮影してくださった。これからキャンドルエリアに行くぞうだ。キャンドルエリアも行動を続けるという。みんな、声は消さないんだ。経産省前の抗議行動を終えて、イサさんとモリヤさんが来た。仲間が増えたので乱鬼龍さんは安心したように場を離れ

ていった。

『あたりまえの地球』『風車のうた』『ひなまつり(旧暦ならOKか)』。定番の歌はイサさんもモリヤさんも諳んじてくれている。ようこさんが到着。ようこさんと達哉の歌詞ファイルから歌を選んでいく。『あなたに届け』『子どもらの明日のために』『そんな世界が一番』。モリヤさんがハーモニーをつけてくれる。『メッセージ』『私たちの暮らしは私たちが決める』『前へ』。モリヤさんは翌日にステージがあるため、一足先に帰った。

もう一度定番の歌を。ようこさんが歩道の真ん中で、舞うように歌い始める。イサさんの鳴子が響く。

警官がふたりやってきた。何か言いたそうにしていたが、知らん顔して歌っている年配のほうを声をかけてきた。他愛ない声かけだったが、そのあと、どこかと連絡をとっている

様子。そうだよ、まだ抗議の声は終わらないよ、ちゃんと警備してよね。最後に『私たちは許さない』を歌った。反原連はいなくなったが、毎週金曜日には、4時から文科省前で朝鮮学校の無償化適用を求め行動があり、5時から経産省前でテント村の集会有る。みんな、繋いでいる。菜葉坂も、ささやかでもそうありたいと思う。



4/29 茨城県支部の練習会



4/29 東京都支部の動画撮影会

どん行

(142)

飯島貞親

「感染拡大が収まらない場合は中止も選択肢」と、この人にしては珍しく正しいことを言ったのだから。

▼国民に対して不要不急の外出の自粛を要求している最中に、深刻化するコロナ禍を尻目に自分が不要不急の外遊に出かけた菅首相。「聖火リレーを始めてしまえばお祭り気分が盛り上がり、いままら延期・中止はありえないという国民の意識が高まるだろう」「バイデン米大統領と世界で最初に対面した他国の指導者であり、それほど菅は米国に重視されている大物なのだ」。こんな気分でのだろうか。▼聖火リレーは寸断、つぎはぎというリレーの名に値しない無残な有様で、単に電通とスポンサー企業のメンツのためだけに続けているのだから、五輪の機運が盛り上がるということはありえない。▼この騒然たる環境の中へ、選手、コーチ、役員など関係者が全世界からやってくる。3週間に及び一大観戦(感染)イベントに終わることになりかねず、それによって死者や患者が日本のみならず世界中に広がるだろう。すでにポロポロの東京五輪はさっさと中止を決定し、その失敗の反省を踏まえて五輪のあり方の抜本改革の議論を呼びかけることが、せめて日本がなす世界への貢献ではないか。▼自民党の二階幹事長が